



平成 30 年 度  
事業計画書

平成 30 年 4 月 1 日から

平成 31 年 3 月 31 日まで

社会福祉法人 双樹会

# 平成30年度

## 社会福祉法人双樹会 陽光の家事業計画書

### I 基本方針

昨年度は、社会福祉法人制度改革にて、①経営組織のガバナンス、②事業運営の透明性の向上、③財務規律の強化、④地域における公益的に実施する責務など変更されました。今後も「地域包括ケアシステムの推進」において施設の「すまい」としての役割、地域福祉拠点としての地域貢献活動の役割機能をもって、社会福祉法人としての事業の基礎として法人運営に反映していきます。

平成30年度は、介護保険制度改革、介護報酬改定にて、自立支援を基本にサービスの評価、認知症対応などサービスの質を高めて行く必要があります。また重度化防止、看取りケア、口腔ケア、栄養改善については、医療とのさらなる連携が必要であり、特養においては、介護職による医療的ケアの実践に取り組みます。

人材確保については喫緊の課題であり、介護ロボット、ICTの活用による業務効率化の推進、研修制度の充実、資格取得支援等による人材育成、人材定着に取り組んでいきます。

### II 重点課題

1. 社会福祉法人改革、地域包括ケアシステム推進の円滑な対応の継続
2. 制度改定に応じたサービスの整備、評価の取り組み
  - ・自立支援、重度化防止に向けた介護サービスの実践
3. 人材の確保・定着・育成の取り組み
  - ・介護キャリア段位制度のレベル認定取得支援の実施
  - ・腰痛予防の継続支援
  - ・専門職の資格取得支援の実施
  - ・介護ロボット、ICT活用による業務効率化の推進
4. 地域における公益的な取り組み
  - ・地域の福祉ニーズに応える取り組み、地域貢献の実践
5. 開設30周年記念行事の開催

### III 組織運営

1. 会議の開催
  - ・理事会 年2回、随時開催
  - ・評議員会 年1回、随時開催
  - ・管理者会議 事業所別会議の定期開催
  - ・委員会の定期開催

入所検討・リスクマネジメント・身体拘束廃止・感染予防・安全衛生・安全・地域貢献  
研修・広報・認知症ケア・ノリフトケア・食事口腔・排泄入浴・看取りケア・ケアマネジメント

2. 社会福祉法人双樹会組織図・職員配置表（別紙）

## IV 事業

### 事業テーマ（ICFの活用 ストレングスモデルの実践）

「できることを奪わず、できないことを要求せず、利用者自身の力・家族の力、地域の力を十分に活用し、埋もれた力を引き出す」

- ・生きる力を引き出す環境づくり・その人らしく生きることへの支援
- ・生活における「活動」「参加」の機会の実現

### 1. 施設部門

#### (1) 特別養護老人ホーム [ 定員50名 ]

\* ベッド稼働率 98%

##### ① 個別ケアの実践

- ・ICFストレングス視点でのケアプラン作成
- ・カンファレンスの定例開催
- ・認知症ケア、口腔ケア、看取りケア、医療的ケアの実践
- ・排泄管理・栄養改善管理・褥瘡管理評価の実践
- ・専門性向上のための各委員会の事例検討の実施

##### ② 腰痛予防（ノーリフトケアの実践）

- ・介護機器・福祉用具の活用実践

##### ③ 人材の育成・定着

- ・アセッサーによるレベル認定の実施
- ・年間計画での研修会の実施

##### ④ 地域貢献

- ・介護教室、介護相談会開催
- ・地域行事への参加、協力、連携
- ・ボランティア受入、連携

#### (2) 短期入所生活介護事業所（介護予防） [ 定員8名 ]

\* ベッド稼働率 85%

- ・在宅介護の継続支援
- ・認知症ケア加算の取組み

#### (3) 広島市重度障害者入浴サービス事業（広島市受託）

- ・実利用者1名

## 2. 在宅部門

### (1) 通所介護事業所（介護予防）〔 定員35名 〕

- ・ 1日平均利用者数 23名（介護・予防・事業対象）
- ・ 実利用者数 85名（介護75名・予防・事業対象10名）
- ・ 新規利用者数 36名

- ① 生活機能向上に向けた心身機能、活動、参加の実践と評価
  - ・ 通所介護計画書・機能訓練計画書に沿ったサービス提供の徹底
  - ・ 「活動・参加」を視点とした個別機能訓練Ⅱの実施
  - ・ 心身機能維持評価の実践（ADL維持等加算）
  - ・ 他事業所セラピストとの連携（生活機能向上連携加算）
  - ・ 栄養改善加算の取組み
- ② 腰痛予防（ノーリフトケアの実践）
  - ・ 介護機器の活用
- ③ 家族介護の負担軽減への支援（中重度者ケア体制加算・認知症ケア加算）
  - ・ 365日稼働、夕食サービスの提供
  - ・ 中重度の対象者であっても社会性の維持を図り在宅生活の継続のケアを計画的に実施するプログラムの作成
  - ・ 認知症の症状の進行の緩和のケアを計画的に実施するプログラムの作成
- ④ 計画的な研修計画の実施

### (2) 居宅介護支援事業所〔 主任介護支援専門員1名 介護支援専門員3名 〕

- ・ 介護給付利用者 月120件
- ・ 予防給付利用者 月30件
- ・ 介護認定調査 年160件
- ・ 特定事業所加算Ⅲ

- ① 住み慣れた地域で継続的な生活を支援
  - ・ 要介護度の維持・改善を目指した自立支援型ケアマネジメント
    - 【介護認定更新時の要介護の維持改善】
    - 【自立支援型のケアマネジメントの作成】
    - 【24時間対応相談における対応】
  - ・ 地域包括支援センターとの連携
    - 【要支援認定・要介護認定者の円滑な受け入れ】
  - ・ 共生型サービスへの対応
    - 【障害福祉相談支援専門員との連携】
  - ・ 地域のインフォーマルサービスの情報収集と活用
- ② 公正中立・質の高いケアマネジメント

【介護支援専門員ごとの研修計画の策定】

【訪問回数の多い利用者への対応】

- ③ 総合的な医療機関等との連携促進
- ・健康状態の維持安定（主治医との連携）
  - ・中重度者・支援困難ケースの積極的な介入、対応  
【支援困難者へのケアマネジメント】  
【終末期利用者へのケアマネジメント】
  - ・医療と介護の連携の強化  
【入院時、平時からの医療機関との連携促進】  
【退院・退所時の在宅生活への円滑な支援】  
【担当者会議での主治医の参加】

### 3. (広島市受託) 広島市城山・五日市観音地域包括支援センター

必置職員 5 名・地域介護予防拠点整備促進事業 1 名

高齢者地域支え合い事業 1 名・予防プランナー 2 名

- ① 健康づくりと介護予防の促進
- ・介護予防拠点の立ち上げ支援及び運営支援
  - ・介護予防マネジメントの質の更なる強化  
【地域ケアマネジメント会議の開催】
  - ・介護予防教室の開催
- ② 見守り支え合う地域づくりの推進
- ・地域における見守り・支え合い活動等の促進  
【高齢者地域支え合い事業の推進】
- ③ 在宅医療・介護連携の推進
- ・多職種連携のための情報交換会の開催
  - ・入退院時情報提供シートの普及活動
- ④ 認知症地域支援体制づくりの推進
- ・個別ケースに対応した支援体制と認知症の人と家族等に対する地域支援体制づくりを進める。  
【認知症サポーター養成講座の開催】  
【地域ケア会議の開催】  
【居宅事例検討会の開催】

## V 防災体制の充実

### 1. 計画に基づいた各種訓練の実施

訓練種別	実施月	訓練内容	備考
総合訓練	5月 10月	夜間体制	消防署立会
部分訓練	5月 10月	消火	消防署立会
災害訓練	9月	土砂災害 地震	

※災害発生時の福祉避難所の設置・非常食の備蓄

### 2. 点検の実施

点検者	点検月
センター事業団（法定点検）	7月 1月
火元責任者（自主点検）	4月 10月

## VI ボランティア登録

団体・氏名	活動内容	活動日
個人 様	フラワーアレンジメント	第3金曜日
観音西地区社協	レクリエーション・外出等	毎週火曜日
個人 様	書道	第4火曜日
個人 様	生花	行事

## VII 陽光の家家族会との共催行事 平成30年度事業計画

年月日	行事内容
平成30年4月	家族会総会
平成30年6月	役員会
平成30年7月	夏祭り
平成30年9月	敬老会
平成30年10月	開園記念行事
平成30年12月	もちつき・忘年会
平成31年3月	役員会

## VIII 設備等の管理

### 1. 備品・修繕

設備備品・修繕	時期	内容
設備・備品	平成30年度	個人浴槽（特養） 介護ワト ICT 関連機器（特養）
介護機器	平成30年度	介護ベッド（5台）
屋内改修	平成30年度 平成31年度～ 平成33年度	ウッドデッキ張替 （中庭・13号室前） 廊下クロス張替（1・2階） エレベーター・エアコン・ ボイラー

### 2. 車両管理状況

事業所	車両管理
介護老人福祉施設 短期入所生活介護事業所	リフト付ハイエース（平成27年5月）車椅子
	リフト付ハイエース（平成26年2月）車椅子
	タント（平成26年2月）車椅子
通所介護事業所	セレナ（平成23年5月）
	ハイゼット（平成29年3月）車椅子
	ステーションワゴン（平成27年2月）
	リフト付ハイエース（平成22年2月）車椅子
居宅介護支援事業所	ミニキャブ（平成25年2月）
	ミラ（平成27年12月）
	アルト（平成28年2月） バイク2台
地域包括支援センター	ミラ（平成23年4月）
	ミラ（平成27年12月）
	アルト（平成28年4月）
	バイク2台

### 3. 建物等維持管理状況

建物の機能の維持と耐久性の確保などを目的に委託管理及び自主点検の実施

委託業者	委託管理内容
各社	電気設備点検 電気事故
	エレベーター管理・汚水槽
	自動ドア管理
	ボイラー管理
	消防設備点検
	床管理、トイレ清掃、廊下、居室